



創誠健和



旭川中学校 学校通信 7月号

1学期を振り返って

令和5年 7月 21日発行

1学期の始業式。3年生に対しては、義務教育最終年度として、また、最上級生として、学校行事や生徒会活動、部活動など、学校の中心となって積極的に取り組んでほしいということ。

2年生に対しては、中堅学年として思う存分、自分を磨き、充実させる時であること。3年生を助けながら積極的に活動し、中学校生活に慣れていない1年生を助けてあげてほしいということ。

そして、69名の新入生に対しては、先輩を手本として中学校生活を送ること。入学式の式辞でもウサギとカメの童話を引用して、目標をしっかりと持ってほしいこと。等々について生徒たちに約束をお願いをして、令和5年度の1学期をスタートしました。

加えて、コロナが5類へ移行し、規制や制限の緩和が予想される中、改めて全校生徒に対しては、優しさに磨きをかけ、旭中を、開拓の精神が受け継がれるこの地域を、北海道を、日本を、世界を、優しさあふれる素敵な場所に変えるため、「世界一」の優しい学校を目指すことを誓いました。

先行きが不透明な時代に生きる私たちですが、世界を変えるという壮大な目的に向かって、全校生徒が一丸となり一緒に努力をはじめています。

また、今年是世界一の優しい学校づくりに向けて「アップデート」をキーワードにしながら、「チーム担任制」や「旭中フェス」、「部活動」など、昨年度よりも更にすばらしい学校を創るための担い手であることを自覚すると同時に、旭中生としての「誇り」を持って自分たちの手で作っていくのだという「自律」の精神も大切に、それぞれの実践をアップデートしています。

本日、無事に1学期の終業式を迎えることが出来ました。式辞では「旭中生としての誇り」についてふれ、「誇れるもの」を持っているのか? 「誇り」ある生き方をしているのか?などを問いかけました。私が思う「誇り」は、「自信や信念」に裏付けされたものであり、揺るがない「自信や信念」と「行動」の成果ではないかということ伝えていきます。

「この夏休み、これだけはやりきる」という姿勢。この「姿勢」で人生が変わる。生き方が変わるかもしれないということ。生徒一人一人が考える「誇り」ある行動をしてほしい。自分が決めた「目標」に向かって行動してほしい。自分のやる気と行動で人生が変わることと信じてほしい。「目標」を達成するための「体力」や「気力」が充実している、今、この時を大切にしてほしい。そして、旭中生としての「誇り」を改めて携えて、2学期の始業式に元気に登校してほしい。結びに、生徒の頑張りに対していつも「誇り」を感じていることを伝え、締めくくりました。この頑張り、地域の皆様はもとより、保護者の皆様の支えがあってのものです。心より感謝を申し上げます。そして、2学期もよろしくお願いいたします。



北海道中学校体育大会

旭川地区予選

【卓球部】 八雲町		【水泳部】 函館市		【体操部】 札幌市		【吹奏楽部】	
3年：田中・浦崎・阿部 筒井・武藤・長谷川 2年：入江・坂田		3年：田野 翔太 3年：林 梨杏		2年：松谷 眺希		3年：6名 2年：7名 1年：6名 計19名	

狂言「茸」ワークショップ



日本には、いろいろな種類の演劇や芸能があり、その中で、狂言は、能とともに室町時代に完成し、650年という長い歴史をもつ演劇です。

今回、文化庁が主催する「令和5年度文化芸術による子ども育成推進事業」による実施校となり、3年生が総合的な学習の時間で狂言に挑戦しました。生徒たちは、狂言師に指導していただき、本格的な舞台が体育館に設置された中、生き生きと演じることができました。普段は物静かな印象の3年生が積極的に取り組む様子は、とても新鮮であり、公演後の満足そうな表情、そして笑顔からは、自信が感じられ、大変嬉しく思ったところです。

当日は、1・2年生や3年生保護者、地域の方にも参観していただきました。地域の方からは、子どもたちが楽しそうに演じる姿や貴重な日本文化である狂言を生で鑑賞することができ、学校を訪ねることができた喜びの声を聞かせていただきました。



地域・保護者の皆様

いよいよ30日間の夏休みとなります。あさひやまで活動する生徒たちの様々な可能性を信じて、たくさんのやる気スイッチを押してあげてほしいと思います。

やる気スイッチを押す3つのコツ

一つめ

人生を豊かに生きるためには「自分で決めること」が大切です。やらせたり、やらされたりすることなく、何か一つ、自分自身で「行動宣言」させてチャレンジを促してみてください。

二つめ

「比較」はやめましょう。誰かと比べて足りないことを嘆いても進歩はありません。ぜひ、昨日の自分と今日の自分を比べさせてみてください。「計算問題を解くスピードが速くなった」等々。今日の自分と競うことで伸びていきます。ぜひ自分自身でチャレンジさせ楽しませてみてください。

三つめ

自己評価が低くはないですか？これは悪い魔法で、一度かかるとなかなか解けない魔法です。反対の良い魔法が「自信」です。やる気スイッチとともに「自信の魔法」をかけてあげましょう。小さな成功体験！「出来た」「やれた」のエピソードを見逃ずに褒めてあげましょう。自信につながります。各家庭や地域行事で皆様が押すやる気スイッチが生徒の心を豊かに育むことと思います。

